

情報デザイン

・効果的なコミュニケーションや問題解決のために、

①

・デザイン: design: 〈建物・機械など〉を設計する«for» (ウィズダム英和辞典 第4版)

②

③

・すでにある障壁を取り除く(なにかあったときだけ使う機能)

・barrier: «人・グループの間の/…に対する»障害, 障壁 (ウィズダム英和辞典 第4版)

・free: 〈人・物〉への制約を取り除く (ウィズダム英和辞典 第4版)

・障害の社会モデル

・障がい者と呼ばれる人が生活していて問題(困りごと)を感じるのは, 本人に問題があるのではなく, 社会に障害となる問題があるという考え方

④

⑤ (状態)

⑥ (alt テキスト)

・視覚障がい者でも, 画像の内容を説明した文が設定されていれば, 読み上げソフトを用いて理解できる

⑦

・聴覚障がい者でも, 音声の内容を文字起こしされていれば, 文字を読むことで理解できる

⑧

⑨

・はじめから障壁を作らない

⑩

・色覚には多様性があり, 人によっては区別しづらい色がある(障壁)

・区別しづらい色を使わないようにすることが色覚バリアフリー

・「赤色だから重要」のように, 色だけの区別ではわからない人もいる(スライドでは太字化, プリントでは空白化)

⑪

・言葉を使わずに絵や記号で伝えるための図

・フォントや大きさ・太さを工夫する

・判読性が高く, 似た数字と区別しやすいユニバーサルデザインフォントなどがある

・フォントごとの印象

・明朝体:

読みやすく, 長文向き

・ゴシック体:

目立ちやすく現代的な印象, 見出しや Web サイト等によく利用される

・ポップ体:

安っぽいイメージ, 安売りの広告などに用いられる

・筆書体:

伝統的なイメージ, 和風の見たと相性がよい

⑫

・ソフトウェアや Web サイトなどの使いやすさのこと

・usability: 使用可能なこと; 有用性; 『IT』(ソフトウェアなどの)使い勝手, 使いやすさ, ユーザビリティ. (ウィズダム英和辞典 第4版)

・ニールセンのユーザビリティ10原則(ユーザビリティを高めるための原則)

・LATCH 法(位置, アルファベット順, 時間, カテゴリ, 階層による分類)

⑬

・利用者が見たり触れたり(操作)する部分

・情報の表示形式やデータ入力方式の操作感

表示形式による違い

図	構造や関係性が直感的にわかる	状態の関係を表す図 (初富のコース選択等)
表	正確な数値を一覧できる	数値を知る必要がある表 (成績表等)
グラフ	変化や傾向がわかりやすい	数値の変化を表すグラフ (三角比(三角関数)等)

